

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第1回 理事会議事録

日 時：2014年 1月 27日 (火) 19:00～22:00

場 所：コンセーレ 小ホール

出席者：

- (理 事 長) : 須山 (敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) :
(副 理 事 長) : 澤畑、福田(之)、廣田、太城、中島
(専 務 理 事) : 金
(監 事) : 安野
(担 当 常 任 理 事) : 羽石、飯野、鈴木
(日 本 J C 委 員 会 特 別 委 員 長) :
(会 員 拡 大 特 別 委 員 会) : 小瀧
(法 令 会 計 審 査 局 局 長) : 豊崎
(事 務 局 局 長) : 飯沼
(委 員 長) : 辻、渋谷、篠原、増淵、宮林、福田(弘)、山田、
木村、飯塚
(局 次 長、副 委 員 長) : 間島、柿沼、相田、吉田、八木、菊地、中嶋、板林、
南木、佐藤
(準 理 事 会 構 成 員) : 赤井、齋藤、加賀田、亀井

1. 開会宣言 <金>(役職名省略 以下同)
2. JCI クリード唱和 <増淵>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <菊地>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <相田>
5. 関東地区宣言唱和 <渋谷>
6. 出席者の確認 <飯沼>
7. 議事録作人並びに議事録署名人の指名 議事録 <総務委員会>
議事録署名人
須山 裕史
安野 嘉政
8. 前回議事録の確認 <金>

9. 議題並びに資料の確認

<飯沼>

10. 2015年度理事長挨拶

<須山>

第一回の理事会にお集まりいただきまして、皆さんありがとうございます。予定者も終わりました。前回は臨時理事会でしたので、今回から理事会ということで、一年間大変お世話になります。今回から普通に考えますと、理事会は12回しかありませんので、この前、飯野常任がいていましたけれども、3分の1はおわっているのだ、ということで残り3分の2しかありませんので、しっかり予定者で組み上げてきた事業計画というものを実現できるように、各委員会ともあげていただけたらと思います。1月は渉外委員会の皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございます。まずは新春例会ですが、ほんとに渉外委員会の皆さんを中心に、各委員会の皆さんにもご協力いただきながら、新しい設えにチャレンジして、大きなトラブルとか大クレームとかいうものに関しては、なかったように感じています。細かい部分というのはいろいろあったのだと思います。たとえば一番の問題というのは、商工会議所とかぶっているということで、市長からありえないというスピーチをいただきましたけれども、実はあれってテクニックだなとすごく感じました。あそこで市長がガツンといってくれたから、シニアの方、来賓の方々からの、これはまずいよ、という人はいなかったと思うのです。大変ありがたいお叱りの言葉だなと思ひまして、感謝を申し上げた次第であります。他にもお礼状を郵送するなど、細かい問題はいろいろあるのだと思いますが、よかった部分悪かった部分があるわけで、青年会議所は一年毎に検証をして、翌年に引き継いでいくということですので、来年も同じことをしてしまったら、これは渋江委員長中心に皆さんの責任だと思ひますので、絶対それをやらせないようお願いしたいと思ひますし、またよかった部分に関しては、ぜひとも引き継いでいってもらいたいと思ひます。ほんとに渉外委員会を中心に皆さんにご協力いただきながら、そして今回は交流という部分を強く押し出して、着座形式がよかったかどうかはこれから検証をしていくわけですが、交流に関して私がみて感じ取れたことは、非常に活発で活気のある交流ができたのではないかと思ひておりますので、そのあたりも是非ともご検証いただきたいと思います。そして、京都会議です。ここにいる、大部分の方が京都まできていただきました。ほんとに仕事や家庭がある中、京都の地まで来ていただき大変ありがとうございます。今年は例年になく、会員会議所であるとか、シニアとの交流の懇親会とか地区の会員会議所に動員がかかりご負担かけたと思ひます。ただやはり私たちは会員会議所でも158LOMの理事長の皆様、関東地区の推薦を満場一致でいただきましたので、これからは全国大会に対して、名乗りを上げた、狼煙をあげたということをご認識していただきたいと思ひます。関東地区で推薦というのは1つしかとれないのです。宇都宮があげたのであれば、他の地区からもう1個あげるといふのは、できないというルールになっています。ですから日本全国に10地区あるわけですが、全国大会に全ての地区が名乗りを上げることもできるわけですが、関東地区協議会の中では、私たち宮JCがその推薦を、白票や反対票をいただかずに推薦をもらったということが、1つの通過点だと思ひます。ここから予備立候補、また立候補に向けて、それぞれの役割をしっかりとこなしていただけたらと思ひます。なかなか伝わりづらい部分で、会員会議所の裏番組、同時刻にシニア総会というのをやっていました。シニアというのはもちろんJCを卒業されたメンバーであります。これに宇都宮JCの卒業生、12名が参加をしております。これは今までにない動きで、もちろん全国大会を見据えて参加をもらったということです。1番の先輩をいけば佐藤市長でありますけれど、工務の合間をぬって、もしかしたら公務中にも関わらず京都まで駆けつけていただいて、この宇都宮のPR、全国大会にうっ

てであるということを、シニアクラブの中の会頭経験者、副会頭経験者などそれぞれの方にその気持ちというものを伝えていただきました。私たち現役は現役で、会員会議所の中でしっかりと地区の推薦をいただいて、シニアはシニアで動いていただいているということをご報告をいたします。つまり、澤畑副理事長がよくいいますが、時計の針は再び動き出したということです。先輩方の想いというものは、1994年1995年1996年で負けてしまい、虚無感に駆られてとまってしまったわけですが、20年経ってこうして私たちの時代に再度、全国大会を狙える時がきたというのは、非常に嬉しく思っております。しっかりとここから準備をしていって、関東に栃木、宇都宮ありということ年全国に発信していけたらと思います。次に、今日ラジオにでました。篠原委員長、広報メディア委員会のおかげでラジオにでたわけですが、聞いた方はどれぐらいおられますか。けっこうな方に聞いていただいております。CDをいただいたので、後でホームページにUPさせていただきます。興味のある方は是非とも聞いていただきたいと思います。栃木放送様もかなり協力的で、例会や事業のPRがあれば、今回のようにきていただいて発信をしてくださいということをお願いいたしましたので、お金もそんなにかかりませんので、公共電波にのせてPRしていただけたらと思います。最後に拡大の話させていただきます。先ほど、JCルームで新入会員の理事長面談をさせていただきました。2月の市長例会ではまず4名の入会予定をしております。新春例会、また予定者の段階でこの4名には参加をしてもらい、入会にたどりついたわけですが、理事メンバーで、この予定者、1月の新春例会にビジターを呼べた、という方はどれぐらいおられますか。もう少し枠を拡げて、委員会で呼べましたか。では委員会に呼びかけた方はどのくらいおられますか。半分くらいは手があがっていますが、何がしたいかという、会員拡大はみんなでやりましょう。ということを常々呼びかけておりますが、実際に行動に移しましたかということをお願いしているわけです。実際に呼べた、菊地副委員長などはさすがだと思いますが、理事メンバー全員に負担をかけているというつもりではないです。委員会で常にビジターはいるか、探してさらに行動に移してもらいたいと思います。理事長がそんなこと言っていた程度で終わってしまうのではないかと思うのですが、やはり行動に移す、どのようにして、1名連れてくるか、実際に委員会メンバーに投げかけてみなければいけません。投げかけ方も、具体的に次回の例会はいついつだから、みんな必ず連れてこようと、一人ひとりが委員会内で拡大に対しての意識をあげていてもらいたいと思います。委員長でも幹事でもよいですが、誰かが問いかけなければ響かないですし、いついつまでに回答してねとか、具体的にしていかないと難しいのではないかと思います。おそらく拡大委員会は今いろいろ動いていて、大変だと思いますが、これは会社でも同じで末端まで浸透させていく、組織で動かすということは難しいことだと思いますが、隅々まで理事会構成メンバーの意識というものを浸透させてもらいたいと思います。2月の市長例会、これはビジターを呼びやすい例会といわれています。ですから是非とも委員会を開くときはビジターの話必ずして、行動に移してください。誰かいるかどうかという人がいるかと、かなり具体的などころまで追いかけて欲しいと思いますが、みんなでやると決めたわけですから、しっかり問いかけをしていただきたいと思います。人が増えてくれば、LOMの勢いもでてくるわけですから、メンバーの皆さんとともに頑張っただけでいいからと思います。次の市長例会には多くのビジターが参加して、2月3月と盛り上げていきましょう。いろいろ話しましたが、本日は理事会ですので、2月の市長例会の審議案件、3月4月の協議案件が続いていきます。ほんとにいい例会、市民のためとなるものをつくっていただきたいと思いますので、どうぞ1年間よろしく願いいたします。ありがとうございました。

11. 2014年度理事長挨拶

公務にて欠席のため割愛

12. 役員報告

- <金> 報告案件お持ちの方、挙手にてお願いします。
- <渋江> 3点ございます。まずは1月19日の新春交流例会、皆様にご参加いただきましてまことにありがとうございます。140名を超える多くのお客さまにお越しいただき、宇都宮JCの発信そして来賓との交流という目的が達成できたと思います。細かいところの問題点はたくさんありましたが、きちんと検証いたしまして次年度に引き継ぎたいと思います。2点目でございますが、先週末の京都会議に理事会構成メンバーをはじめとする多くのメンバーにご参加いただけたこと、まことにありがとうございます。中島議長をはじめとする、日本JCに出向する皆様の応援と、各人新たな発見、気づきがあったかと思えます。これからまだまだたくさん諸大会ございますので、渉外委員会で設営させていただきますので、ご参加の程よろしくお願ひいたします。3点目ですが、2月8日、日光会議がございます。日曜日ですが、理事会構成メンバーをはじめとするメンバーの多くのご参加をお待ちしております。詳細はまだメンバーメーリング等で案内させていただきますので、内容をご確認の程お願ひいたします。
- <金> ありがとうございます。その他、役員報告、報告ある方いらっしゃいますでしょうか。
- しょうか。
- <辻> 2点報告させていただきます。明後日、1月29日、第112回通常総会を開催いたしますので、ご協力の程よろしくお願ひいたします。また、執行部の皆様におかれましては、リハーサルを執り行わせていただきますので、18時15分までにお集まりの程よろしくお願ひいたします。2点目ですが、2月24日、第2回理事会におきまして、公開理事会を執り行わせていただきたいと思ひます。皆様、メンバーの方々をお連れになって参加の程よろしくお願ひいたします。
- <金> ありがとうございます。その他、ございますか。
- <南木> 京都会議におきまして、世界の中の日本のセミナーに数多くの登録と出席をいただきまして、目標の700人を超える参加をいただき、大成功に終わりました。これも皆様のおかげです。まことにありがとうございます。
- <金> ありがとうございます。続きまして山田委員長お願ひします。
- <山田> 2点ございます。1点目ですが前年の予定者会議の時にも連絡させていただきましたが、来週2月6日金曜日に第1回全国大会招致会議を19時より開催させていただきます。場所は栃木青少年センターで開催いたします。今週中に詳細をご連絡させていただきますので、よろしくお願ひいたします。また、委員会メンバーの皆様もオブザーブ可能となっておりますので、ぜひ、各委員会のメンバーの皆様にお声掛けをいただきましてオブザーブのご案内をして

いただければとおもいます。続きまして2点目ですが、3月28日土曜日に埼玉中央JC様におきまして対話集会が行われます。実際に7月ごろには宇都宮でやる予定となっておりますので、ぜひ理事会構成メンバーにおかれましては、例年、12時すぎにまず現地調査、各ファンクション会場をまわりましてその後16時から対話集会という流れとなっておりますので、直前まで何人がオブザーブできるか分からないですが、3月28日土曜日、ご都合を空けていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

13. 審議事項

審-01 2月 市長例会 開催計画並びに予算(案)承認の件

菊地副委員長より2回目の上程のため変更点の読み上げ

- <須山> ありがとうございます。それでは審議事項ですので、予算およびコンプライアンスの部分に関して、法令会計審査局よりお願いします。
- <豊崎> 特段問題ございません。
- <須山> ありがとうございます。飯野常任、何か補足ございますか。
- <飯野> 特段ございません。慎重なるご審議の程よろしく願いいたします。
- <須山> ありがとうございます。それでは審議に移らせていただきます。ご意見お持ちの方は挙手にてお願いします。
- <須山> 上島先輩との京都での打合せの内容をお教えてください。
- <山田> 23日金曜日、シニアクラブの集まりの際、太城副理事長、飯野常任と一緒に打合せをさせていただきました。上島先輩がおひとりでご講演いただく等、修正したスケジュールや内容をご説明させていただきました。ご本人から内容わかりましたとお言葉をいただきました。内容につきましてもJC運動と町作りとのことで、比較的話しやすい内容で、自分が今まで経験してきたこととお話させていただきますということで、了解いただきました。
- <須山> 打ち合わせも良好に進んでいるということでご報告させていただきます。それではご意見お持ちの方、挙手にてお願い致します。
- <須山> それではご意見なきようですので、審議に移らせていただきます。2月市長例会 開催計画並びに予算(案)承認の件、賛成の方挙手をお願いいたします。反対の方。白紙の方。事務局長お願いします。
- <飯沼> 前回一致です。
- <須山> 前回一致を持ちまして、審議可決とさせていただきます。
- <須山> 審議可決となりましたので、市長例会に向けて意気込みを伺いたいと思います。
- <菊地> まず、今日もお昼を食べながら市長と打合せをさせていただきまして、まず全国大会に立候補したということで市長も若干テンションが上がりがちで、今までになく市長のテンションがあがっていると思いますので、よろしく願いいたします。

14. 協議事項

協-01 3月 研修例会 開催計画並びに予算（案）について
協議資料につき増渕委員長より資料の読み上げ

- <金> ありがとうございます。2回目の理事会での上程となりますが、前回事業要綱の部分で引っかかってその先進めなかったこともありますので、ちょっとボリュームが大きい内容となっておりますので、事業要綱、当日の会場の設えや講演内容やタイムスケジュール、参加動員、最後に他の質問やいい忘れたなどの質問の4つに分けて協議していきたいと思います。最初に事業要綱の部分、背景、対象者、目的に関して、ご意見ご質問のある理事の方、いらっしゃいますでしょうか。
- <金> 事業要綱の部分ではなきようですので、当日の会場の設えや講演内容やタイムスケジュールについてご意見ご質問のある方は右手挙手にてお願いいたします。
- <相田> 当日のシナリオで、司会の小網さんが理事長にマイクを渡した後に、すぐに葛西さんの挨拶がはじまるようなのですが、司会の方から繋ぎの言葉を入れた方がよろしいのかなと思います。
- <増渕> 修正して対応いたします。
- <渋江> 参考資料のところで、各委員会の役割表がありますが、この委員会は何時から何時までこの役割をすとか詳しく説明があった方が、当日効率よく動けるのではないかと思います。
- <増渕> 修正して対応いたします。
- <中島> アンケートにつきまして、回収ボックスに投函してくださいとあるのですが、アンケートに関しては回収率何割だとか、目標はあるのでしょうか。
- <増渕> 回収率は設定しておりませんでした。精査してまいります。
- <福田(弘)> ポスターチラシの配布先について、土屋ホームさんに対しての配布数がかなりの枚数になっておりますが、これは全国での配布となるのか、栃木県内での配布となるのか、ご説明をお願いします。
- <増渕> 土屋ホームさんへの配布枚数ですが、栃木県内の土屋ホームさんのお客様に、ダイレクトメールにて配布いただくという内諾をいただいておりますので、栃木県、また茨城県、群馬県の土屋ホームさんのお客様にチラシを配っていただくという内諾をいただいております。
- <福田(弘)> 全面的な協力をいただいた上でのこの配布枚数でしたら、問題ないかと思っております。もう1点、委員会役割ですが、委員会名が間違っておりますので訂正お願いいたします。
- <増渕> 申しわけありません。訂正いたします。
- <木村> 背景目的を達成するために、前回講師の件で触れられていなかったもので、葛西さんを講師にお呼びして、この事業内容で目的を達成するということをわかりやすく教えていただきたいと思います。
- <増渕> 背景といたしまして、より魅力ある街とするには社会を変革する人材が必要だということと、市民一人ひとりの成長とまちづくりに対しての市民の当事者意識を高めることを背景としています。その問題解決のためには、目的にありますように自ら行動を起こすという意識変革を促すことが肝要だと思います。そのためより多くの市民の琴線に触れ、感動や共感を促すことが重要だと思います。より多くの人の感動や共鳴の感情に触れるには、1つの手法として、

あきらめない心とか感謝の気持ちを伝えたいと考え、葛西氏を選定させていただきました。

<木村> 葛西さんの幼少期から高校時代、そして現在に至るまでの、体験というより自分のことをずっと話している内容となっていますが、これでは市民の心の琴線に触れることができるのか。私は疑問に感じます。自身の人生経験を語るのであれば、別に葛西さんでなくともよいのではと思うのですが、なぜこの目的を達成するために葛西さんを講師において、葛西さんでなければいけないことはなんなのか。それから人生経験を話す以外に何か設えはあるのかどうか、わからなかったので、そこを変えた方がよいと思います。

<増淵> シナリオの部分ですが、人生経験ばかり書いてあるように思われると思いますが、葛西さんの人生経験の中から何かを感じ取ってほしいという意味でこういうシナリオにさせていただきました。設えの件ですが、再度精査させていただきます。

<辻> 2点程あります。以前、アナウンサーの件で、スポーツ選手は話が上手ではないということで、プロのアナウンサーを使って、話を聞き出すという方向性だったと思うのですが、今回アナウンサーを委員会メンバーに変更していますが、どうしてそうしたのかを知りたいのと、ポスター掲示依頼先ですが、上部の方は学校、スポーツショップが多いのですが、下部の方はドラッグストアやファミリーレストランなどがあります。そういったところに配る理由をお教えてください。

<増淵> アナウンサーを取りやめた件ですが、先週北海道に行きまして、葛西氏のマネージャーと打合せをさせていただいた際、スポーツ選手は話が流暢ではない、という先入観があったのですが、最近葛西氏は講演会等が多くなり、話もだいぶ流暢になってきたという話をうけました。当初35分という時間を設けていたのですが、これでは足りないということで、であればアナウンサーも必要なのではないか、という結論に至りました。ですがただ取りやめるのではなく、司会という役をメンバーに任せることで、メンバーの自己成長の場としてよいのではないかと考えております。2点目のポスター配布先の件ですが、老若男女問わずより多くの人に講演会を聞いていただきたいという考えがありましたので、人の集まる場所にもポスターを配布したいという意図の元です。

<宮林> 先ほど木村委員長からご指摘がありましたが、事業目的の件で、何を意図するのか端的にお答えください。と質問がありました。私もシナリオを読ませていただき、人生を語られている部分が多いように思うのですが、その中の一部で社会、コミュニティーの関係であるとか、仲間との関係性について触れている部分があります。この点と事業目的が何か関係性があるのではないかと思います。何か説明をいただけたらと思ひまして、質問でございます。

<羽石> 目的の部分ですが、講師のシナリオの部分で、どうしても本人の幼少期からの苦労話だけがクローズアップされているように感じられたので、今回、いろんな方をお呼びする中で、講演を聞いた方がどのように感じるのかは様々だと思います。たとえば、受験生の方であれば、葛西氏がどのような気持ちで取り組んできたのか、などを聞いていただくことで思うことがあるでしょうし、また経営者の方であれば、企業に関するPRをしていただくことによって、新たな一面を感じていただけるのではないかと考えます。

<篠原> チラシポスターの配布先ですが、やたらと配布先が多いと感じるのですが、最低でも1週間前に配り始めるのではないかと思います。配りきれますで

- しょうか。
- <増渕> 配りきります。
- <金> それでは参加動員の部分でご意見ご質問ある方は右手挙手にてお願いいたします。
- <鈴木> この事業は総予算150万、LOMメンバー130名、1人11,000円の予算をかけてこの事業を行うわけですが、1人11,000円をかける重みと責任を、どれだけ増渕委員長がこの事業に想いがあって、どれだけの人を集めていきたいのかを、もう一度教えてください。
- <増渕> 1000人集めることに関しては、最初の冒頭にもいいましたように、1人よりも10人、10人よりも100人、100人よりも1000人の方に伝えた方が、宇都宮JCの運動の伝播する場所にもなりますし、より多くの人々の心の琴線に触れることができれば、宇都宮JCも今以上に社会に認められるのではないかと考えます。
- <鈴木> 私が何をいいたかったのかというと、増渕委員長がどれだけの想い、熱を持ってこの例会を迎えようとしているのか、この理事会で改めてその想いを伝えることができれば、理事会構成メンバーの気持ちも1つにまっすぐに向くとします。そうすれば、多分1000人はいける、より近づくことができると思うのです。もっとこの事業内容にたいして自信をもって突っ走って行ってほしいと思います。
- <金> 豊崎委員長、バナー、ポスター等のコンプライアンスを確認したいのですが。
- <豊崎> バナーの写真ですが、ポスターと同じ写真を流用しているようですが、前回と変わりがないと思いますが了承はえているのでしょうか。それからポスターのJCマークですがガイドラインに沿ったものでないといけませんので精査をお願いします。書類上の変更点も何点か見受けられますので後ほど連絡いたします。
- <金> 細かいところは後ほど法令会計と修正の程お願いいたします。その他ご意見ご質問ありますでしょうか。
- <福田(弘)> 動員計画の中で宇都宮JCのシニアに対しての呼びかけですが、FAXからメールに切り替えるようなのですが、そのあたりについて詳しく教えてください。
- <金> 私がお答えします。現状FAXも生きております。メールでやる方向にしておりますが、メールだけでなくFAXも兼用いたします。
- <加賀田> チラシの裏面が申込み用紙となっておりますが、これで参加を受け付けるのであれば、かなり早い段階で配布しないと受け付けることが難しいのではないかと思います。このタイムスケジュールで本当に間に合うのか疑問です。
- <増渕> ポスター配布の審議が2月24日となっております。配布はそれ以降となりますが、事前にポスター配布先に赴き、こういう事業があつてお越しいただきたい旨を伝えて、来ていただく内諾をとっていくことにします。
- <加賀田> 各委員会にチラシ配布の協力を依頼するのであれば、事前にいただければ協力しやすいかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
- <木村> 参加動員計画のところで市民を1000人以上呼ぼうとしているわけですが、3月30日月曜ということは、平日で一般の方も出にくい日取りではないかと思えます。学生の方も新しい年度を迎えるわけですから忙しいのではないかと思えますが、参加員数を1000人以上計画するのであれば、それを達成するために、そして目的を達成するために、配布先をもう少し考えたらよいの

ではないかと思います。スポーツ選手を呼ぶのであればスポーツを中心に意識を変革する、市民の心の琴線に触れるような、そういうシナリオ作りをしてからできてくるのではないかと。背景の次に参加員数計画というのは、何かバラバラな気がいたします。それをしっかりまとめた上でシナリオを作ると、この動員が可能になってくるのではないかと思います。講師の関係で30日というのは変えられないと思いますが、それであればそれに見合う、月曜でも年度末でも見合う内容を作って、それをポスター、チラシに反映させて、この1000人以上の動員につなげていった方がよいと思います。

- <増渕> シナリオ、目的に関してのご意見を踏まえて精査させていただきます。
- <金> それでは全般的になにかありますか。
- <木村> これだけの参加員数計画ですので、備品等も再度見直して、救急セットなどの対応も考えた方がよいと思います。
- <増渕> 精査いたします。
- <相田> ビジターが12名と予定しておりますが、委員会ではどのように予定してありますか。
- <増渕> CSR企業等に回ってその際ビジターの動員呼びかけ等をしております。
- <篠崎> 礼状ですが、形だけならよいですが、単に名前を変えてあるだけで内容が変わらないのはいかがでしょうかと思います。
- <増渕> 再度精査させていただきます。
- <須山> まず、自信と気迫をもう少し全面にだしていただきたい。また、予算の話ができましたが、みんながこの予算を使用することの重みをもって欲しいです。これはやはりここにいる理事会構成メンバー全員が成功させたいという気持ちはあるのだと思います。ぜひともそれを巻き込むような自信と気迫をもってのぞんでほしいと思います。予算が11万余っています。下野のモノクロの広告でもなんでも、なんとでも1000人集めるのだという気迫をみせてほしいと思います。

協-02 4月 郷土愛醸成例会 開催計画並びに予算(案)について
協議資料につき飯塚委員長より資料の読み上げ

- <佐藤> 郷土愛と宇都宮を愛しましょうという部分は繋がりにくいと思うのですが。
- <飯塚> 委員会内で考えたのですが、地域愛から郷土愛、そこから愛国心に繋げるという手法も考えたのですが、やはり日本人の誇りといいますか、今回理事長所信にも掲げておりますが、国の歴史から学んでそこから郷土愛を醸成するという取組を調査研究するというところでこういった内容で書かせていただいておりますが、高橋先生の講和の中で、郷土愛につなげるのは、どのようにして繋がられますかと相談しておりますその話の中でも、愛国心からはいきなり郷土愛は育めない。順番からいまして、まず家族を愛する、身近な友達を愛する気持ちから地域を愛する、地域を愛する気持ちから郷土愛を育まれ、そこから国を愛するという流れで、先生もそれに関しては他の講演内容を伺うと繋がられておりますから、難しくはないのではないかと思っております。
- <佐藤> この内容からいくと、日本の歴史を知って、そこから郷土愛に繋げるようになっていますが、後にグループディスカッションをやるようになっていますが、ぼやけてしまうのではないかと思います。
- <飯塚> 国の歴史から始まりますが、そこから郷土愛につながるように先生に話して

いただきますので、グループディスカッションでもさらに深まるような設えにしていきたいと思いますので、ご理解いただけないでしょうか。

<宮林> 私の感性からいいますと、気高い愛国心とありますが、すごくデリケートな言葉だと思います。ここまでいい切っても大丈夫でしょうか。

<飯塚> おっしゃるとおり、愛国心というといってしまう方もいるかと思いますが、体内ではこの言葉は使っておりますが、対外的には違う表現をししていきます。

<宮林> 個人として反対はありませんが、デリケートな表現なのが一般的だと思います。

<木村> ワークショップのところの自己紹介が1人15秒で3分とるとありますが、多分短すぎると思います。時間の検討をお願いします。もう1つ講師は様々な著書をだしているようですが、早く来場される方もいると思うので、受付の時に心を震わせる何か設えを検討してみたいかと思いますが、いかがでしょうか。

<飯塚> タイムスケジュールを再度みなおしていきます。また高橋講師を知らない方も多いため、参加した方がどういった講師なのか理解してもらえらる設えを委員会で練っていきたく思います。

<福田(弘)> 外部協力団体の中で宇都宮平和祈念館を作る会に依頼していますがどのような内容なのでしょうか。

<飯塚> 宇都宮も70年前に空襲をうけて、そういった傷をうけたことを後世まで残して伝えようとするところで、宇都宮平和祈念館を作ろうと運動を行っている会です。そちらにも講演の依頼をお願いしております。

<福田(弘)> 中核団体となっている団体等ご存じでしたら教えてください。

<飯塚> 誰でも入会できる会となっております。今会長をやられております方は清住で弁護士をやられている藤田先生という方です。

<金> この団体をより理解しやすい資料等を作成いただけるとよいですね。

<福田(弘)> わりかしデリケートな部分に踏み込んでいる内容だと思います。各協力団体には極力中身を理解していただき、公益社団法人として変な目でみられないような設えにしていいただければと思います。

<山田> 事業概要、参加員数計画のところですが、一般参加者が50名、ワークショップ参加者が30名の計80名となっておりますが、外部協力者の自治体等を中心にたくさんの協賛をいただき、またフライヤーを2000枚配布する計画ですが、せつかくの公益事業ですので、もう少し参加者を増やす計画にしてみたいかと思いますが、もう1点、タイムスケジュールですが、セレモニーが18:00から始まって18:27終了予定その後18:30から一般来場者の受付が始まるということで、その3分間に委員会メンバーが担当場所について対応するということだと思いますが、もし3分間で難しいようであれば再考いただければと思います。

<福田(弘)> 講師についてですが、選定理由からは直接的な宇都宮との関係は読み取れませんが、委員会としては日本全体としての歴史から郷土愛に繋げると説明がりましたが、こちらの講師と宇都宮との関係の部分も何かしら関係性があればよいと思いますがいかがでしょうか。

<飯塚> 高橋先生は講演では何回かきていますが、宇都宮との関係性はないのかもしれないので難しいかと思いますが。

<齋藤> ロードマップの方で2015年度は大学生、その後1年毎に高校生、中学生、小学生、最後に教員ということでフローチャートになっておりますが、なぜこういう形にしたのか質問です。

- <飯塚> 細かく分けた理由ですが、はじめて宇都宮JCでこういった内容を扱うということで、試験的というわけではないですがまず大学生から、段階を踏んで徐々にという形でフォーマットを作らせていただきました。
- <小瀧> 愛国心ということを全面にだすよりも、戦中の道徳とか歴史とかを注視する例会にした方がよいのでは。その方が郷土愛、家族愛に結びつくのでは。
- <須山> 所信からひもとしてこの事業計画が成り立っているのではないかと思います。非常にご迷惑をおかけしていると思います。最終最後の目的がロードマップで示している、委員会内で考えてもらっていると思うので、そこにぶれることなく進んでもらいたいと思います。そう考えると、今理事会構成メンバーの皆さんからいただいた意見を伺っていると、内容がいきすぎているのだと思います。3年目の事業のような内容になっているかと思うので、1年目は問題提起まででおさえて、もしくはガチガチに理論武装して固めて理事会構成メンバーから意見がでないくらいのものであるかのどちらかと思いますが、皆さんの空気感を考えると、問題提起におさめたほうがよいのではないかと思います。

協-03 5月 わんぱく相撲例会 開催計画並びに予算(案)について
協議資料につき宮林委員長より資料の読み上げ

- <金> ご意見ご質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
- <山田> 背景と目的の部分ですが、背景の最後と事業目的がほとんど一緒ですので、背景の文言を少し精査されてはいかがでしょうか。
- <宮林> 今1度背景を精査させていただきます。
- <中島> 5番の外部協力者ですが、南相撲道場とありますが、これは陽南相撲道場の間違いではないでしょうか。それから協賛、協力の部分で、スケジュールについてお教えてください。
- <宮林> 1点目につきまして訂正させていただきます。2点目につきましては、当然3月の審議までに間に合わせなければなりませんので、それに合わせて動いてまいります。
- <中島> この中でも、下野新聞様は承諾書をとるまでに1か月かかりますので、そのあたりに気をつけていただければと思います。
- <木村> 第1回の常任理事会の意見報告の件ですが、参加している団体が固定化しているということで、開拓をしていくことを検討するとありますが、どういったことを検討しているのですか。
- <宮林> 委員会内で検討しているのは、メディアを通じてということも検討していますが、固く人数を増やしていくには、やはり団体を増やしていかなければならないと思っております、やはり相撲を関連のある団体、格闘技系の団体がよいと思い、実際にお話が繋がりにやすいと思っております。今のところ検討しているのが、リストにない柔道関係と剣道の団体を開拓したいと思っております。
- <木村> 柔道、剣道の団体をからめていくのはよいと思いますが、そもそも目的の中に相撲という国技を学ばせることが重要であって、動員計画もマンネリしているように感じますし、団体戦を多くすればよいというわけではないと思います。国技を通じて、礼節や大切なことを子どもたちに体験してもらおうという点では、1団体につき3チームで出場しても毎年チーム名を変えて参加してい

るチームも多々あったと思います。そういったことも考慮して、委員会でしっかり検討していただきたいです。もっと小学校にコミットして、学校の授業などでも相撲が取り組まれるようになれば、相撲という国技を学び、礼節等も学び、仲間との絆をつくる機会が多くなるのではないのでしょうか。

<宮林> 先ほど団体と申し上げたのはPRする先の団体をまわっていこうという趣旨の団体を意味しておりまして、おそらく木村委員長のいつている団体というのは団体戦の話が多分されたのかと思います。団体戦に関しては私も委員会で考えさせていただいて、より多く子どもたちに参加していただくためにやはり個人戦が中心の方がよいと考えておりますが、ただ先ほど仲間という話もありましたが、団体戦は友達と感情を共有し、仲間の勝つ姿負ける姿をみる機会がありよい経験になるのではないかと考えました。ただ団体戦の時間をとりすぎると個人戦の時間がとれなくなりますので、例年先着順にして区切りを設けていますが、団体戦に関しては区切りを設けないようにして存続するのがよいのかなと考えております。

<篠原> まわしを締める小屋を男子と女子とを分ける工夫をしますとございますが、パラソル、パラソルスタンド等を用いるということでやはり女の子の子をもつ親として、嫌がるのではないかと思います。現実的に去年まわし小屋を担当させてもらいましたが、男女を分けている暇がない、もし男女を分けるという配慮をするなら、女の子のまわしを締めるのも女性の人になるのかなと思いますが、女性のメンバーが少ないのではないかと思います。

<宮林> 分からないところがありますので教えてもらいたいのですが、パラソル、パラソルスタンドで区切るとなぜ女子が嫌がると思うのはなぜでしょうか。

<篠原> パラソル、パラソルスタンドの下でまわしを締めるということは普通に考えると外でしめるということですよ。

<宮林> 予定ですが、パラソルスタンドは重石として使用し、棒をたて、そこにブルーシートを使ってしきるとことです。それからまわし小屋の中の対応が男女に分けることが難しいことと、女性メンバーが少ないことに関しましてはこれから委員会で精査して参ります。

<木村> 少し議案を読ませていただくと、なぜわんぱく相撲が34回行われて、継続されているのか、なぜやっていかなければならないのかをもう少し考えていただいて、わからなければ、わんぱく相撲の経験者が多くいると思うので、メンバーでも理事メンバーでもしっかり聞いた上で委員会に持ち帰っていただくとか、当日のアトラクションをいろいろと考えていると思うのですが、そこからまず考えていただいて、そこからアトラクションとなると思います。呉座をしくとありますが、しっかり想像してみると呉座を1枚ひいただけでは寒いでしょうし、子どもたちの体が冷えてしまうと思いますし、そういう部分も含めて経験者に相談をした方がよいと思いますし、1回目の上程ですし、来月はまだ煮詰めてよい議案にしていいただければと思います。もう1点、予算ですが、審判協力団体は何名くるのか教えていただきたいのと、去年からそのままスライドさせているのだと思いますが、保険料も変わっていると思いますし、保険会社も今この名前では存在しませんのでもう一度予算もみていただきたいと思います。

<宮林> 検討不足の部分のご指摘をいただきましてありがとうございます。具体的に何人審判者がくるのかを詰めておりませんでしたので、確認してご返答いたします。

- <木村> しっかりと精査をお願いします。
- <鈴木> この議案の内容について、宮林委員長は何パーセント把握しているのでしょうか。
- <宮林> 上程する上で全て把握していることが基本だと思います。
- <鈴木> では質問させてください。詳細タイムスケジュールで、わんぱく委員会は6時集合で7時15分に委員会メンバーの受付開始、7時半からセレモニー、これは本当にできるのでしょうか。なぜこの時間設定なのか教えてください。
- <宮林> 朝の集合から7時半までのスケジュールに関してご質問いただいたと思いますが、前年からの引き継ぎ事項、実際の話をついて伺いまして、前日からの準備、朝6時に集まってからの準備について伺いまして、設定しております。あと不安な部分といたしまして総合運動公園の鍵をお借りするのにどのようになっているのかを詰めていかなければならないと思っております。
- <鈴木> わかりました。それからもう1つ、会場設営費のタオル雑巾ですが、これは再使用ですかそれとも使い捨てですか。
- <宮林> 使い捨ての認識でしたが、正直なところタオル雑巾についての検討ができておりませんでした。申しわけございません。
- <渋谷> 会場図ですが、私が2012年度、鈴木常任の下、作成させていただいたままのものなのですが、やはりこちらは現場をしっかりと確認していただき、2015年度版の会場図をつくっていただいた方が気持ちが入るのではないかと思います。どうしてもこれをみせると、本当に考えているのかなと疑問に思ってしまう。検討お願いいたします。
- <宮林> これもご指摘ももっともでございます。現時点で委員会メンバー全員ではありませんが、会場には4回ほど確認に行っております。しっかりした会場図を作成して、気持ちをしっかりと入れてまいります。
- <福田(弘)> 審議対象資料の18番、わんぱく相撲の作法ということで、子どもたち向けの資料だと思います。子ども向けの資料でしたら、漢字にふりがなを付けるなどの配慮が必要かと思えます。
- <山田> 10番の事業内容の、上から3番目の黒い四角の中の記載ですが申込み期間が4月1日から4月30日とありますが、審議資料のわんぱく相撲募集要項の期限が5月7日の木曜日必着とありますが、どちらでしょうか。
- <宮林> 5月7日木曜日にあわせませす。
- <山田> スケジュールの件ですが、総合運動公園の開園は基本的には8時半となっておりますので、時間外の使用は事前に承認を必要としますのでご注意ください。
- <飯塚> 備品リストがおそらく添付されていないと思います。予算の内容もかわってくると思いますので添付の程お願いします。
- <板林> 先ほどの礼儀作法の資料ですが、絵のところが漢字で絵となっておりますが、次回までには絵が添付されてくるのでしょうか。
- <宮林> そうです。子どもが好む、かわいらしい絵を添付したいと思います。
- <渋谷> 昨年度はLOMのPR映像を会場内のスクリーンで流しましたが、今年は流す予定はありますか。
- <宮林> 検討してない部分でしたので、委員会内で検討いたします。
- <鈴木> 理事長の言葉をお借りして、現時点で宮林委員長はどのくらいブルブルしていますか。
- <宮林> いろんな意味でのブルブルをしています。

<鈴木> 変な質問でごめんなさい。でも、わんぱく委員長は1回しかできません。その中で今回の内容は、宮林委員長のやりたいことなのかと、ほんとにわんぱく相撲をやってよかったのかと思えるのかと思いました。

<須山> 私でしたらあそこまで鈴木常任にいわれたら鈴木常任を嫌いになると思います。好感度を削ってまで意見したことをご理解いただければと思います。前年度の引き継ぎ事項で、検討するもの、取り入れないもの、がはっきりしていません。ラジオ体操もビッグツリーがよかったけれども今年はどうなのかとか、色んなことを検討した方よいとおもいます。今回のわんぱく相撲は何を重点的に望むのか、もっとほりさげていただければと思います。

協-04 1月新入会員認証(案)について
協議資料につき、佐藤副委員長より資料の読み上げ

<金> ご意見ご質問なきようでございます。

<佐藤> 先ほどの入会申込書の件を訂正した上で、審議格上げの同義をお願いいたします。

<金> ただいま佐藤副委員長より、審議格上げの同義がございました。セコンドされる理事の方、右手挙手にてお願いします。羽石常任、八木副委員長、2名セコンドお願いします。それでは審議格上げの決を取りたいと思います。協議事項4番 1月新入会員認証(案)につきまして、審議格上げに賛成の理事の方、右手挙手お願いします。反対の方、白紙の方、事務局長お願いします。

<飯沼> 全会一致です。

<金> 全会一致でございますので、審議事項2番に新入会員認証(案)を格上げします。審議事項に戻りますので、マイクを須山議長に戻します。議長、お願いいたします。

<須山> それでは先ほど審議格上げとなりました、審議事項2番項 1月新入会員認証の件につきまして、佐藤副委員長お願いいたします。

審-02 1月 新入会員認証(案)について
審議資料につき、佐藤副委員長より資料の読み上げ

<須山> こちらは人事案件でございます。新しく新入会員4名の承認の件となっております。先ほどご意見ありませんでしたので、審議に移らせていただきますがいかがでしょうか。

異議なし

<須山> それでは賛成の方右手挙手をお願いします。白紙の方。反対の方。事務局長評決をお願いします。

<飯沼> 全会一致でございます。

<須山> 全会一致を持ちまして、審議可決といたします。

<須山> それでは審議可決となりました、本日ご上程をいただきました佐藤副委員長より一言お願いします。

<佐藤> 今月4名の認証ということで、拡大委員会だけでは拡大できないと感じています。2月例会もたくさんのビジターが予定しております。今後とも取りこぼしのないよう気を引き締めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

<須山> ありがとうございます。それでは審議事項を締めさせていただきます。

15. 報告依頼事項

報-1、3月研修例会承認済み対外配布資料配布について

<金> ご一読ください。

報-2、2015年度 年間公式スケジュールについて

<金> ご一読ください。

報-3、2015年度 対外出向者(案)について

<金> ご一読ください。

報-4、災害時における緊急連絡網

<金> ご確認のほどお願いします。

報-5、災害時における初動マニュアル

ご一読ください。

報-6、会費納入状況について

<金> ご一読ください。

報-7、特別会員入金状況について

<金> ご一読ください。

報-8、ビジター報告

<金> ご一読ください。

報-9、ビジター名簿

<金> ご一読ください。

報-10、全国大会招致会議について

<山田> 冒頭に申し上げたとおりです。よろしくお願ひいたします。

報-その他、 間島局次長より委員会口座開設、年会費納入状況について説明。

16. 監事講評

<安野>

まずは、1月理事会開催、まことにめでたうございます。それと渉外委員会の皆様、設営ありがとうございます。1年間これからもよろしくお願ひいたします。さて、本日の理事会の内容ですが、2月の市長例会、審議をいただきまして、全国大会招致会議の皆様、多くのメンバーで上島先輩と市長をお迎えできるように、当日まで準備を進めていってほしいと思います。それと審議事項としてもう一つ、新入会員4名ということで、これを皮切りに、スタートダッシュが肝心だと思いますので、よろしくお願ひいたします。協議事項ですが、すごく活発な意見が飛び交っておりました。特に、研修委員長はもっと自信をもって上程していただくと、みんなも不安にならず、質問もそんなにでないのではないかと思いますので、自信と想いをもって上程をしていただきたいと思います。4月例会の講師の高橋先生は、個人的となりますが私の大学時代の教授でした。実は授業もうけたことありまして、非常に面白い先生です。事業を構築するにあたり、高橋先生についていろいろと調べていただき、本当にこの人がふさわしいということを証明してほしいと思います。5月のわんぱく相撲ですが、継続事業ではありますが新規事業のつもりで、全てを見直す気持ちで、真摯に向き合ってよい事業にしていってほしいと思います。なぜ、質問がでるかということ、それは議案からイメージが湧かないからだだと思います。理事会で色々な意見を委員会に持ち帰り、よりよい事業の構築をしていただきたいと思います。なるべく早く対応いただき、次回の正副、常任理事会とあるわけですから、しっかりと準備をしていただきたいと思います。さて、予定者から現在とくらべて、自身で何か変わったなと思うことはありますでしょうか。

実際はあまりいないのではないのでしょうか。それは、予定者段階の4か月にわたり、何度も何度も繰り返していくと、第1回目の予定者理事会の時はドキドキしたと思いますが、4か月もたつと以外と何も変わっていない。それだけ皆さんの気持ちが成長している。皆が成長することで宇都宮JCも成長する、先に進むのだと私は思います。そのような自覚を持って1年間過ごしていただき、この理事会構成メンバーと共にあゆみを進めていけたらいいなと思います。以上、簡単ではございますが、監事講評にかえさせていただきます。ありがとうございました。

<金> 安野監事ありがとうございます。

16. 閉会宣言

<金>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2015年度 第1回理事会

議長：(専務理事) 金 克彦

議事録作成：総務委員会

議事録署名人：須 山 裕 之
安 野 嘉 政